

敬愛
創造
協力



「5つの大切」を心に 登校を楽しみにできる学校

町田三中だより

自分 相手 礼儀 時間 もの

町田市立町田第三中学校

第14号

2026年3月25日

町田三中

検索

CLICK!

第58回 卒業式

校長 鈴木 英 顕

3月19日(木)、2025年度第58回卒業式を挙行了しました。

式辞(要約)

幾度の雪にも耐え、三中自慢の学校花壇の花がきれいに咲き誇っています。そんな草花の強い生命力を感じるきょうの佳き日の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

保護者の皆様、本日をもちまして、お子さまの義務教育全課程が修了したことをご報告させていただきます。教職員を代表いたしまして、心よりお慶びを申し上げます。

世の中には、見えるものと見えないものがあります。

例えば見えるものは、お金、テストの結果、受験の可否、部活動のコンクールや試合の結果。

そういったものは分かりやすく、よく見えます。

見えないものは、空気、信頼、努力、優しさ、思いやり、友情、愛情など。

これらは見えません。でも、確かに存在はしています。

私たちはつい、見えるものを追いかけてしまいがちです。

でも、本当に大切なものは、はたしてどちらでしょう。

たった1年間だったけど、卒業生の皆さんと一緒に生活をして思ったこと。

それは、見えないものを大切にしているということです。

まず浮かぶのは、「挨拶」です。

「挨拶」そのものは、お辞儀だったり手を振ったりと、行為そのものは見えます。

しかし、「挨拶」は、相手の存在を認め、敬う気持ちや共感、安心感という、見えない「気持ち」や「心」を伝えます。

昨年4月、私は不安なまま、この三中来ました。その時、始業式から多くの3年生から「挨拶」を受けました。

その温かな「気持ち」と「心」にとっても救われたのです。

まるで、昨日のことのようです。

体育大会。

体育大会を「最高のもの」にする。多くの3年生が「最高の」体育大会にしたいと思っていました。その思いに向かって、優勝のために全力で競技に臨む。

見えることをしっかりと行っていました。

しかし、それだけではないのです。

特に感心したのは、勝敗に関係がない、入場行進やラジオ体操を練習の段階から大事にして取り組んでいま



した。とても立派でした。

直接勝敗に関係がなくても、「最高」を目指すには必要だと思ったのです。

「最高」という見えないものを求めて。

でも、閉会式のあとの全校生徒がつくった一つの大きな輪、もしかしたらそれが、「最高」を、見える形にしたものなのかもしれません。

合唱コンクール。

練習期間中、どうしたらみんなの「心」を一つにして、合唱を成功させることができるのか、悩みます。

しかしある時から「心」が重なり合い始め、当日は自分の「心」を信じ、隣で歌う仲間との「心」が一つになり、クラスが、学年が、「心」が重なり、市民ホールいっぱい歌声が響きました。

聴いていた在校生はもちろん、保護者の皆様も、単に歌声が伝わっただけではなく、「心」が伝わった瞬間でした。「心」もまた、見えないものです。

道徳授業地区公開講座。

昨年9月、道徳授業地区公開講座では、「いのちを大切に」というテーマで、俳優の小西博之さまをお招きし、ご講演いただきました。

また、その「命」も見えません。

私たちは、その命の大切さや尊さを改めて考える機会となりました。

小西さまは、「舞台や講演会は、話し手と聞き手の気持ちが一気になって初めて感動を呼ぶ。三中生は、本当に素晴らしい。『気持ち』が通い合える。」

「三中は本当に素晴らしい学校だ、生徒だ」「卒業式にぜひ参列したい」とまでおっしゃってくださり、北海道帯広での撮影の最中にもかかわらず、本日ここにご臨席いただくことが叶いました。

通じ合った「気持ち」も見えないもの。

そして、小西さまとの「縁」。

この「縁」もまた、見えないものです。

人生を支えているものは、見えないものが実に多いのです。

見えないものを大切にすると、人生が豊かになります。

今さらながら、このことを、卒業生の皆さんから学びました。

まさに誇れる三年生、誇れる卒業生です。

「誇れる」も目に見えませんね。

見えないものを大切に卒業生の背中を、この会場に参加している2年生はもちろん、1年生もしっかりと見てきました。予行練習の立ち居振る舞い、昨日のこの式場準備の様子からも、そのことを感じます。特に、2年生はもう三中の三年生の顔になりつつあると私は実感しています。



さて、卒業生の皆さんは、卒業して明日から進むべき道を決めました。

道は、一人一人それぞれです。

第1志望に合格した人は、「合格できてよかった！正解だ！」と考えているかもしれません。

第1志望以外に進む人は、もしかしたら不正解だったとがっかりしているかもしれません。

しかし、それはどちらも誤りです。

正解かどうかは、これからの皆さんの行動で決まります。

つまり第1志望だろうが、そうでなかろうが、今からの行動で皆さんの進路は正解かどうかが決まるのです。進路とはそういうものです。

ですから、今、進路が正解だったとは誰にも言えないのです。

式が終わり、体育館の扉から退場した時から、正解を求めるのです。

けれども、「正解」はなかなか見つかりませんよ。時間もかかるかもしれません。

覚悟してくださいね。

その対策として、見えないものの一つとして「へこたれない」を皆さんに贈ります。

何があっても、「へこたれない」、そうすれば、正解が見えてきます。

それでは、「誇れる」卒業生のみなさん、さようなら。



2026年3月19日 催花雨の朝

町田市立町田第三中学校 校長 鈴木 英顕

来年度当初のおもな予定

4月 6日(月) 1学期始業式
4月 7日(火) 午前授業
4月 8日(水) 入学式
4月 9日(木) 避難訓練
4月 10日(金) 身体計測
4月 13日(月) 新入生歓迎会、給食開始

4月 14日(火) クラス・個人写真撮影
4月 15日(水) 教員研修(午前授業)
4月 20日(月) 生徒会朝礼
4月 23日(木) 学力調査(3年)
4月 24日(金) 学校運営協議会
4月 25日(土) 土曜授業(学校公開)
みどりが丘学級校外学習

【修了式 式辞（要旨）】

1年間、「うまくいかなかったなあ」「もっと、積極的にやっていたら…」などと思っている人もいます。しかし、その気持ちをぜひ大切にしてください。

人類は、あらゆる失敗の歴史とともに成長してきました。ですから、成長には失敗が必要なのです。

そこで大切なことは、なんでも「まずやってみる」ことです。やらずして、失敗はしないということです。

そういう意味では、人生は二通りに分かれます。

それは、「成功した人」と「失敗した人」ではありません。

「成功も失敗もする人」と「成功も失敗もしない人」です。

みなさんは、どちらを選びますか。

この1年間、失敗もよく頑張ったということです。

春休みは、新3年生、新2年生への助走に使いましょう。

■ 教職員の異動・退職（教員・事務・副校長補佐・スクールサポートスタッフ）

2026年3月25日 現在

転出

【教員】

源田 雅明 （非常勤教員）町田第一中学校
中島 徹 稲城市立稲城第二中学校
谷口 布見子 日の出町立大久野中学校
浦澤 雄史 大田区立蒲田中学校
茂木 七海 大田区立大森第七中学校
杉山 花音子 八王子市立由木中学校
吉田 麻理菜 町田第一中学校

【事務他】

安藤 力 （都費事務） 町田第一中学校
藤崎 恵美子（市費事務） 薬師中学校
一力 英樹 （副校長補佐） 高ヶ坂小学校

転入

【教員】

中原 秀一（副校長） 真光寺中学校
廣瀬 光恵（英語） 世田谷区立喜多見中学校
小林 勝（みどりが丘学級 社会） 町田第一中学校
石井 太一（みどりが丘学級 保体） 八王子市立由井中学校
市川 孝一（社会） 世田谷区立桜丘中学校

【事務他】

麻生 和香子（都費事務） 薬師中学校
林 和加子（市費事務） 町田市役所会計課
浅沼 温子 （スクールサポートスタッフ）

退職

小田倉 千津子

先週、おかげさまで、厳粛な中にも温かな式になり、144名の卒業生は元気に巣立っていきました。
また、本日の修了式をもちまして、第1学年、第2学年の生徒は、今年度の教育活動の全課程を修了したことを
ご報告いたします。

2025年度も本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜りました。

心より深く感謝を申し上げます。

4月からも、引き続きよろしく願いいたします。

